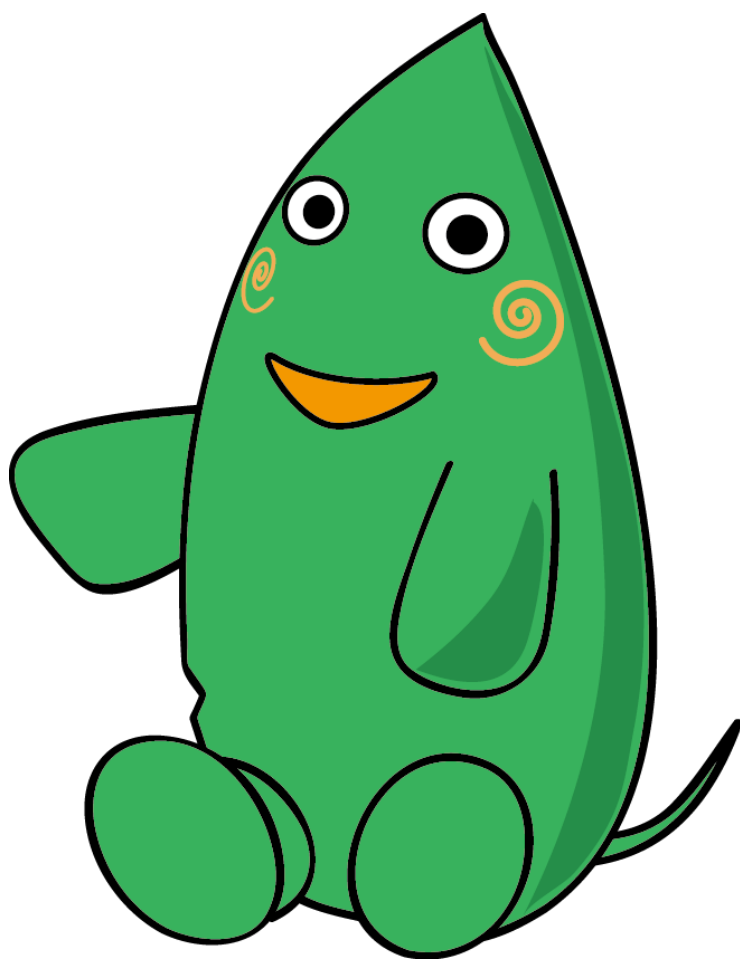


大和市イベントキャラクター 着ぐるみ使用マニュアル



令和7年7月 第2版

大和市役所

市民経済・にぎわい創出部 にぎわいイベント課

1 事前確認事項

着ぐるみを使用する前に、以下の点を必ず確認してください。

(1) 人員体制

- ① 着ぐるみを着る人（以下「アクター」という。）は、2名以上で順次交代できる体制をとってください（推奨）。また、構造上、身長155cm以上170cm以下の方がアクターに適しています。
- ② 1回あたりの出演時間は20分程度（夏季は15分程度）とし、必ず休憩をとり水分補給を行ってください。
- ③ アクターの付き添い人（以下「アテンダント」という。）は必ず1名以上つけ、アクターが人やモノにぶつかったり、転倒しないよう、アクターと一緒に行動してください。
- ④ イベントなどの出演等については、予め主催者等と打合せを行ってください。

(2) 控室の確保

- ① 控室は、着ぐるみを広げて着替えることができる十分なスペースがある部屋等を用意してください。
- ② 控室内は、外部から覗かれることのないように注意してください。

(3) 運搬車両等の確保

- ① 着ぐるみボディ（縦150cm×横90cm）で1袋、ズボン、靴と野ぎく（縦50cm×横30cm）で1袋の計2袋が入る車両（ワゴン車等の箱型車両）及び2名以上の運搬人員を準備してください。
- ② 引渡と返却は、着ぐるみ貸出承認・非承認通知書に記載している日時でお願いします。

(4) ふくろの出し入れ

- ① 人目につかないような場所での出し入れをしてください。
- ② 逆さに入れないようにしてください。

2 アクターの方へ

(1) 着ぐるみについて

着ぐるみは構造上、内部が高温多湿になったり、動きに制限があるため、初めて着る際は、事前に着ぐるみを試着して視界や動き等を確認してから、本番に臨んでください。

(2) 服装等について

アクターの方々が気持ちよく快適に使用できるよう、素肌が直接着ぐるみに触れないようにしてください。服装等については下記を参考にしてください。

① 頭

バンダナやタオルなどを巻き、汗が垂れて目に入らないようにしてください。
また、長い髪はゴムなどでまとめてください（推奨）。

② 顔

眼鏡をかけて着ぐるみには入らないでください。やむを得ず眼鏡をかける場合は、自己責任において使用してください。

③ 体

上半身は汗を吸いやすい綿などの生地の上着を着用し、手は軍手などの手袋を着用してください。

下半身はジャージやスパッツなどの長ズボンを着用し、靴下は汗を吸収しやすい綿などの生地の高ソックスを着用してください。

④ その他

ピアスやアクセサリ等は、怪我の原因になりますので外してください。

化粧は、着ぐるみ内部の汚れになりますので、お控えください。

(3) 動きについて

① 着ぐるみは手足が短いため、意識的に大きく動かないと動きが小さく見えるので、着ぐるみ着用時はオーバーリアクション気味で動いてください。

② 着ぐるみ着用時は、視界が狭いため、周辺の状況が見えにくくなります。事故防止のため、必ずアテンダントをつけ、必ずその指示に従ってください。

③ 無理に速く動こうとすることや、子どもを抱きかかえたりすること等は、事故につながる可能性がありますので厳禁です。

※ 動きについて、疑問等がございましたら、にぎわいイベント課にてレクチャーを行うことも可能です（要事前相談）。

(4) 注意事項

① 雨天、強風等の悪天候時は屋外で着用しないでください。また、天候が急変した際は、速やかに撤収してください。

② 天候にかかわらず、濡れた路面等、着ぐるみが汚れる恐れがある場合は、使用しないでください。

③ 火気及び危険物の近辺では、絶対に着用、保管しないでください。

④ 着用したままの喫煙は厳禁です。

⑤ 着ぐるみ着用時は、アクターの発声、会話はキャラクターのイメージを損なうため厳禁です。「トイレ」や「交代」などのサインを決めてアテンダントとの会話は最小限になるよう努めてください。

⑥ 上記の他、本マニュアルおよび「大和市イベントキャラクター着ぐるみ貸出要綱」を熟読の上、使用してください。

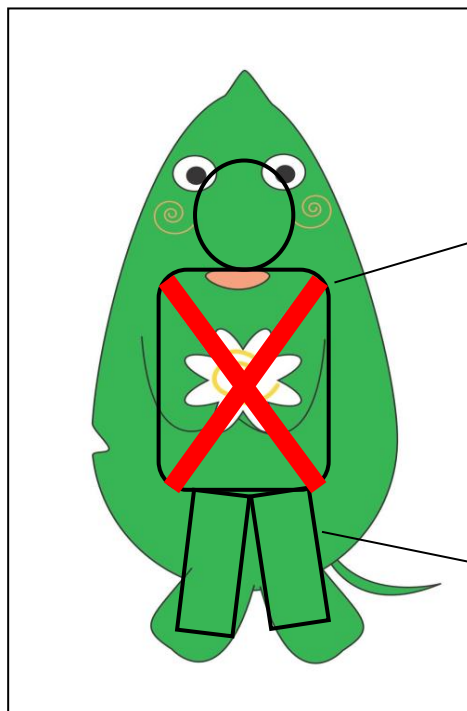
3 着ぐるみの着用について

着ぐるみは、ボディとズボン、クツの3つに分かれています。

着用に適した服装に着替えたなら、まず始めにズボンを着用してください。ズボンを着用したらクツをはき、ズボンとクツをマジックテープで固定してください。必ず2名以上の方に協力してもらいボディを装着してください。

下記の「良い着用例」になるように着用してください。

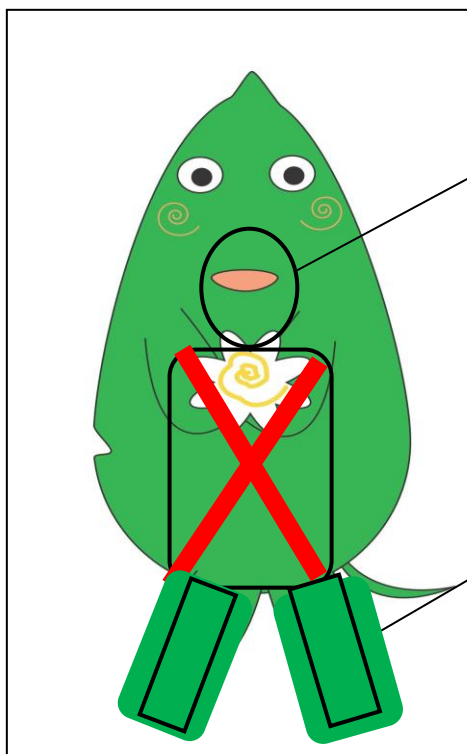
良い着用例



肩バンドで着ぐるみ（ボディ）を支えます。肩バンドはアクターのひざがボディに隠れるように長さを調整してください。

ひざがボディの外に出ない高さまで、ボディ内に入れてください。イメージは中腰です。

悪い装着例



着ぐるみの口に着ている人の目を合わせて着ると、ヤマトンの足が長くなってしまいます。

足が長くなると、キャラクターのイメージが変わってしまいます。

4 アテンダントの方へ

(1) 役割

- ① アクターとは「付かず離れず」を心掛け、何かの時にはすぐに対応できる距離にいてください。
- ② アクターの視界は悪いため、アテンダントが進行方向や人、障害物の存在を確認し、アクターに伝えてください。
- ③ アテンダントは、必ずアクターの斜め前あたりで先導し、必要に応じてアクターの手を引いて、歩行を補助してください。また、後方から触ってくる人や子供には十分注意してください。
- ④ たくさんの人数が集まるイベントの場合は、アクターの前後に各1名アテンダントをつけて対応してください。

※ 可能であれば、アテンダントの方も事前に着ぐるみを着用し、アクターの視界や動きやすさ等を確認してみてください。

(2) 声かけ

アクターに声かけする際は、個人名ではなく「ヤマトン」としてかけてください。

例

- 「ヤマトン、段差があるよ」
- 「ヤマトン、階段があるよ」
- 「ヤマトン、お友だちがたくさん来てるよ」
- 「ヤマトン、写真を撮るよ。はい、ポーズ」
- 「ヤマトン、休憩しようか」など

※ イベント関係者が声かけをする際も「ヤマトン」として声をかけてください。
また、控室外ではアクターとの会話は最小限にしてください。

(3) 対応

- ① 周囲の状況に絶えず気を配ってください。
- ② 出演時間を予め決めておき、アクターに無理をさせないようにしてください。
- ③ 握手や写真撮影の際は、周囲の迷惑にならないよう人の整理を行ってください。
- ④ 「中に誰が入っているの?」「男?女?」などの質問は「ヤマトンだよ」「ヤマトンは男の子だよ」と、にこやかに答えるようにし、アクターが誰かということについては答えないでください。
- ⑤ ヤマトン(アクター)に危害を加える人(たたく、しっぽをひっぱる)には、毅然とした態度で注意してください。

(4) プロフィール

イベント参加者から質問される場合もありますので、ヤマトンのプロフィールを覚えておいてください。

☆ヤマトンのプロフィール

名前	ヤマトン
性別	男の子(泉の森で生まれた葉っぱの妖精)
誕生日	森年齢で3～4歳
年齢	8月8日(はっぱの日)
性格	おっとりしていて、恥ずかしがり屋さん。普段は木の間に隠れているけど、こどもが来ると、驚かせることもあります。
好きな物	葉っぱの朝つゆ、おさんぽ、おまつり、エックス(旧ツイッター)
特技	大なわとび

5 その他

- (1) 着ぐるみを移動する際には、丁寧に扱ってください。扉や壁にあてないよう気を付けてください。
- (2) 着ぐるみは人目のつかないところで管理してください。
移動の際は必ず袋に入れ、着ぐるみが見えないようにしてください。移動の際に、「これ何?」と聞かれたら「大きな荷物です。」と答えてください。
- (3) 着ぐるみの破損や汚れた際は、返却時ににぎわいイベント課に報告してください。
- (4) 運搬は必ず袋に入れた状態で行ってください。
- (5) 車両での移動の際は、着ぐるみが入る車両(ワゴン車等の箱型車両)を用意し、車内で着ぐるみが破損等しないよう、注意して取り扱ってください。
- (6) 本マニュアルに記載してある内容の他、「大和市イベントキャラクター着ぐるみ貸出要綱」を熟読の上、事故のないようにしてください。

■問合せ先

市民経済・にぎわい創出部

にぎわいイベント課

TEL 046-260-5167

FAX 046-260-5138